

りんくうタウンと クールジャパンフロントのまちづくり



平成26年5月

大阪府 住宅まちづくり部 タウン推進局

- 日本のマンガ、アニメ、特撮、おもちゃ、ゲームなどのポップカルチャーは、外国の人たちにカッコいいモノ(=クール)として受け入れられ、流行しているものであり、日本の誇るべき文化。

「クールジャパンの中でも、コア分野を絞る」

コア分野＝世界的に圧倒的な優位性を持ち、常に世界の流行をつくる（左右する）力を持っている分野

マンガ

アニメ

特撮

おもちゃ

(フィギュア、プラモデルを含む)

ゲーム

COOL
OF
COOL



■「クールジャパンフロントのまちづくり推進事業」

- 大阪府がH24.3に策定した「りんくうタウンのさらなる活性化に向けたまちづくり戦略プラン」
- ・ 日本の玄関口「りんくうタウン」(大阪)は、訪日外国人が最初に触れ、最後に訪れる地域として、日本の印象形成に重要なまち。
- ・ 大阪府では、関空対岸にある事業用地(約11haの公園予定地)を、マンガ・アニメ・特撮・ゲーム・おもちゃなど日本が誇る文化(ポップカルチャー)を集めた「クールジャパンフロントのまちづくり推進事業」を民間の力で実現させて、国際的な観光拠点をつくることを目指している。
- ・ クールジャパンフロントのまちでは、外国人へのホスピタリティと文化を表し、日本人自身が日本の力を再認識できるまちとして、国内外からの来場者で賑わうまちをめざす。

日本が誇る
“日本の顔”で
まちづくりを
行う



国際的な観光拠点

■ りんくうタウンとは

- 大阪府南部につくられた関西国際空港の機能の補完と立地インパクトを活かした地域の繁栄を図る目的で、大阪府が事業主体となって、空港対岸を埋め立てて作ったまち。(全造成面積318.4ha)
 - ・ 空港対岸の海岸線沿いに細長いまち。泉佐野市・泉南市・田尻町の2市1町にまたがる。

■ りんくうタウンの立地

- 関西国際空港から連絡橋をわたってすぐの場所にあり、日本の印象形成に重要な地域。
- JR、南海、阪神高速、阪和自動車道など、主要交通の結節点にあたる。



■ 関西国際空港の動向

- ・ 関西国際空港のH25国際線旅客数 1,181万人(国際線旅客便数70,450便、外国人旅客数464万人(H24の29%増!))
- ・ 訪日外国人の増加見込みや関空を拠点とするLCC(格安航空会社)の本格就航など、今後も関西国際空港の利用は増加。

H25に過去最高を記録。H24に続いて2年連続で記録更新

日本が誇る“文化”を集めた「ニッポンのショールーム」として集客し、情報発信するのに絶好の立地！

■ りんくうタウンの立地

○ りんくうタウン駅から徒歩ですぐの場所。空港からは電車又は車で、連絡橋をわたって5分程度の立地。

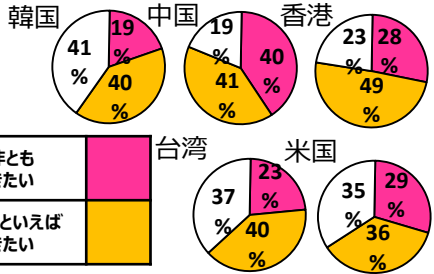


- 駅を中心とする3つの主な集客施設では、年間2000万人以上の利用客がある。
 - ・チェルシーりんくうプレミアムアウトレット(500万人)、イオンモール泉南(1300万人)、プレジャータウンシークル(500万人)
- マーブルビーチや関空・淡路島・神戸・明石海峡大橋を臨む景色、大阪湾に沈む夕陽など、素晴らしい海辺のロケーション。

国内外から多数の人々が訪れており、情報発信の場としても、好立地！

りんくうタウンはクールジャパンの体験装置をもつ“日本の顔”としての役割が期待できる。

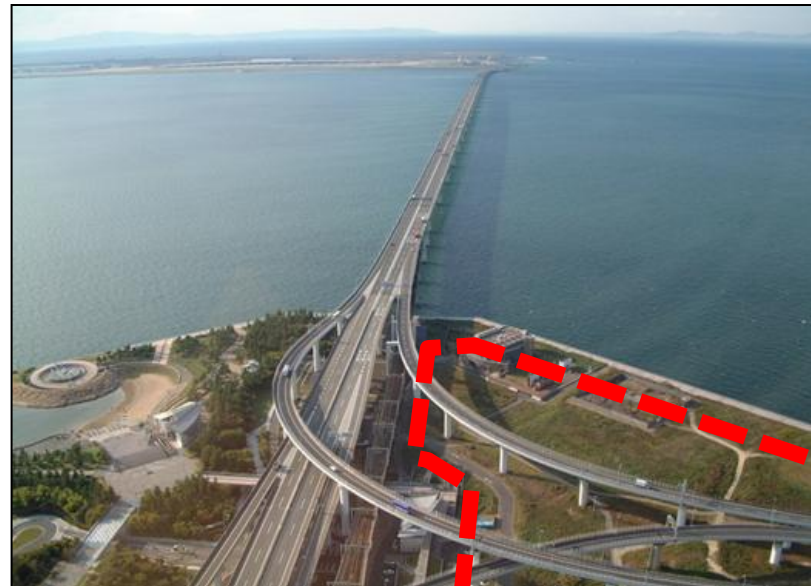
■ 海外マーケティングリサーチ (H24.1大阪府調査) 韓国
『日本に旅行する機会があれば、クールジャパンフロントに行きたいか？』との質問に対して、各国で『行きたい』の回答が非常に高い数値。



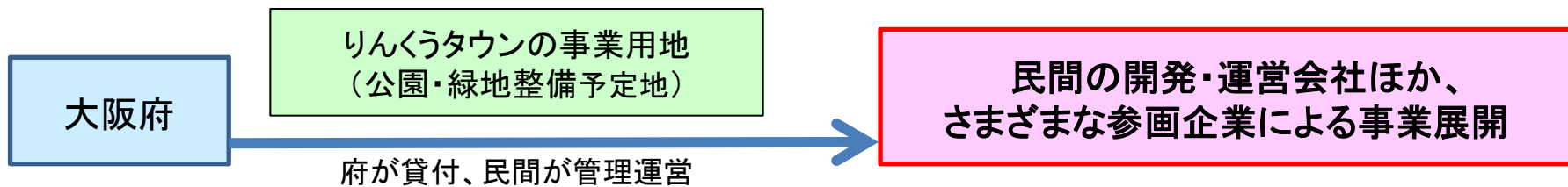
※ 韓・中・香・台・米の5か国の1,375人を対象に、クールジャパン フロントのコンセプトを提示し、訪日時
の訪問意向をネットで調査。

【試算】海外からの年間
来場者数54万4千人
※ 関西訪問海外旅行者数(日本政府観光局(JINTO)の調査による推計値194万人)と、左記データ「是非とも行きたい」から算出。「どちらかといえば」でさらに伸びることを期待！
関空の外国人出入国者356万人の約16%にあたる

これに加えて
国内からの
来場者も
数多く期待
できる



■ 事業スキーム(民間企業による計画的な開発と事業展開)



■ 行政と民間の役割分担

- 民間 : クールジャパンをテーマに、自由で個性的なまちづくりを企画、計画し、実行する。
- 行政 : 事業地を民間がスムーズに活用し事業ができるよう、さまざまな支援・サポートを行う。

■ 大阪府の支援・サポート

1 安価な借地料で、土地を提供(～H45年度末まで)

関西空港へ続く連絡橋の北側、海に面した約10.4haの土地(公園・緑地整備予定地)を事業に使用提供。

- ① 工作物や建築物の建築面積分のみが発生する借地料のみとする。
(観光客等が利用するオープンスペースについては、無償使用とする。)



借地料を抑えつつ、広大な空間を活かした土地利用が可能。

- ② 府規則による固定金額での貸付ではなく、売上に応じた借地料の要素を取り入れる。
借地料=(総売上額×事業者自らが提案する納付率+市町村交付金※)



事業者の経営シミュレーションに沿って、貸付料の自由な設定が可能。

※ 市町村交付金=府が市に支払う費用。民間の固定資産税にあたるもの。

2 各関係機関との連絡調整

まちづくりの実現に向けて、都市計画や用途地域などに係る地元市や関係機関との協議について、事業者とともに検討し、協議を進めていく。